

南予地協に新しい仲間

「南予ピージョイ労働組合」が誕生

2月27日、宇和島で新しく労働組合が結成され、直ちに連合愛媛ユニオンおよび南予地協に加盟した。誕生した組織は「南予ピージョイ労働組合」で、会社は宇和島市に本社を置き、活魚・鮮魚・水産加工・精肉加工・飼料販売等を展開し、活魚・鮮魚は四国をはじめ、九州・中国・関西から中部・関東まで輸送、加工食品も南予一円から県下全域に亘る販売を行っている。組合は、この中の活魚・鮮魚輸送に係わるドライバー11名のうち7名で結成し、翌28日には結成と同時に加盟した連合愛媛ユニオンならびに南予地協ともに、KK南予ピージョイ代表者に対し、「組合結成通告」「四項目要求と団体交渉申し入れ」を行った。

一方的な不利益変更認めない

◆ 第1回団体交渉 ◆

3月14日、南予ピージョイ第1回団体交渉を開催。組合側は、当該労組委員長を含む三名のほか連合愛媛、さらに南予地協が出席。会社側からは常務取締役、取締役部長、次長、そして顧問弁護士が出席した。席上、双方共に初めての顔合わせであることから、先ず

各々自己紹介し、組合側より初めて組合結成したことを伝え、今後は組合の合意なくして賃金はじめ労働諸条件に係わる一方的な不利益変更は一切認められない事、又、今回会社側が組合員個々に求めてきた給与見直し、活魚運行規則の変更、泊りに及ぶ食事代減額等はそ

の意味で受け入れられないとし、これから時間をかけつつも労働条件の整備をはかること、さらに就業規則提出、団体交渉に伴う組合役員の取り扱いについての主張を行った。会社側からは、今回活魚関係輸送従事者を対象に経営改善の一環として提案したのは、もともと外注(庸車)でやれる部署であるものの、当社運

行の方がコスト高になっている事から、少なくとも外注並に合わせたいとの考えで申し入れたと事情を明かした。

その上で、本日の組合側の主張を代表者に伝え、会社としての諸々の考え方を次回団体交渉にて示したいとした。

組合員7名の結束と 未加入者4名の加入めざす

団交終了後、組合側は第1回団交の総括を行い、先ずは会社側の回答を待つものの、組合員が最も懸念していた賃下げなど3月1日実施関連事項の強行に歯止めをかけていること、そのことを注視しているはずの未加入者4名への組合加入アプローチを強めること、そしてこれから組織維持の本当の真価が問われることから、更なる結束を確認しあつた。

連合、産別、単組、企業・職場から物心両面の支援を

3.11 東北地方太平洋沖地震の被災者に心からお見舞い申し上げます

3.5連合愛媛2011春季生活闘争総決起集会

南予地協からもバス1台含む60名余りが参加、元気にデモ行進す

